

帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業【九重町】

現状と課題

- ・関係機関・団体の連携不足、専門人材の不足している。
- ・指導体制の不足(アセスメント不十分、教材不足、指導者の質と量)、担任や関係機関との連携強化の必要性がある。

事業内容

○日本語指導者養成研修・連絡会(7月～8月)散在地域のため県が開催しているものに参加し、小グループで協議する。

第1回: 県全体の帰国・外国人児童生徒等への日本語指導、支援体制の現状確認

第2回: 各地域での今年度の取組の情報交換、児童生徒への日本語指導の実際

第3回: 日本語指導の方法、取組実践の課題の確認



連動

日本語指導支援員の派遣

○日本語指導が必要な児童生徒に支援員を派遣し、児童生徒の能力に応じた指導を行う

事業成果



- ・指導・支援体制の現状や課題共有による連携強化、多機関・多主体の意見交換を通じた支援体制の具体化と情報共有の促進ができた。
- ・指導の質の向上、教員の専門性向上、そして児童生徒の日本語能力・学習理解度の向上などが成果である。